



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

サウジアラビア鉄道事情：高速鉄道網の整備 (20日付アラブ・ニュース紙)

20日付アラブ・ニュース紙は、サウジアラビアにおける高速鉄道網の整備に関するサウジ鉄道公社（SRO）のアブドゥルアジーズ・アル＝ホカイル総裁へのインタビュー内容について報じた。重要な点は以下の通り。

1. 現在、サウジの高速鉄道の線路距離は1,200kmである。現在計画されている全ての事業が完了すれば、3、4年後には7,000kmになっているだろう。これは、高速鉄道分野の先進国であるスペイン、仏国、独国と肩を並べるものである。
2. 現在、サウジでは以下に示す5つの大型鉄道事業が実施もしくは計画中である。
 - (1) 1つめは「南北資源鉄道」であり、イラク国境付近のハザム・アルジャラミッドおよびズベイラと港町ラス・アルカイルを結び、リン鉱石やボーキサイトを輸送するものである。南北資源鉄道は、すでに試験供用を開始している。
 - (2) 2つめは「北リヤド鉄道」であり、ズベイラとリヤドを結び、客車および貨物車を運用するべく現在工事中である（2014年完了予定）。この鉄道は、将来的にはヨルダン国境にあるハディーサとリヤドを結ぶ予定である。この鉄道は、時速200kmで走行する予定。
 - (3) 3つめは「ハマライン高速鉄道」であり、聖地マッカとマディーナをジッダ経由で結ぶ鉄道である。鉄道の工事はすでに始まっており、全ての工事契約はすでに締結され、あとは事業の完了を待つのみである。本事業の土木工事では、154の橋と500以上のトンネルが建設される予定である。この鉄道は、時速300km以上で走行する予定である。
 - (4) 4つめは「ランドブリッジ」であり、ラス・アルカイル — ダンマン — リヤド — ジッダ — ヤンブ を結ぶ鉄道である。リヤド — ジッダ間は5時間で結ばれるだろう。事業の完了は2015年を予定している。
 - (5) 5つめは「GCC鉄道」であり、クウェイトからオマーンまでを総延長1,940kmで結ぶ鉄道である。サウジ国内の鉄道区間は663kmである。GCCサミットで合意したとおり2017年までに事業を完了させなければならない。
3. これら事業の予算についてはまだ言うことはできない。ただし、これら全ての事業はすでに国に承認され、予算も割り当てられている。鉄道事業は国が最も力を入れているインフラ事業の一つであり、事業実施に際し、予算が障害になることはないであろう。

4. これら高速鉄道網の整備がサウジに及ぼす影響は非常に大きい。なぜなら、サウジの主要な商業・工業都市のすべてがこの鉄道網で結ばれるため、人々および物資の輸送がスムーズになり、大きな経済効果が期待できるからである。さらに、人や物資の一極集中を防ぐこともできるし、観光促進も大いに進むであろう。
5. SRO は民営化を進めている。これまで紹介した各鉄道は、SRO の監督の下で企業が運営管理を行うことになるであろう。さらに、SRO から徐々に権限や業務を各企業に移管することになるであろう。
6. 高速鉄道網整備の他に、リヤド、ジッダ、マッカ、マディーナにおいて、都市内鉄道（メトロ、ライトレール）が建設される予定である。これら都市内鉄道は、都市村落省および関連機関が業務を行っている。FS はすでに終了しており、予算の割り当ても近くなされるはずである。